

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 37-006

PDCA	事務事業名	雨水整備事業	部課等名	水道部下水道課雨水担当	担当	山本	
					内線等	481	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節：第2節 都市基盤の整備					
		基本施策：5. 治水・排水対策					
		単位施策：(2) 雨水排水対策の推進					
根拠法令等	下水道法						
対象・目的	雨水管渠を整備することにより浸水被害を抑制する。また、地勢的に排水不良となる地域の浸水被害の軽減を図るため、既存雨水管渠等の測量調査を行うとともに、状況を踏まえた適切な雨水排水計画の見直しを図る。						
目的を達成するための手段・活動内容	過去に浸水被害が発生した乙川地域に雨水管渠を整備し、被害発生を抑制する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①雨水管整備延長		252.7	144.5	393.9	m
		②					
		③					
		事業費		128,614	84,379	204,600	千円
		人件費		8,058	6,558	6,831	千円
		総事業費		136,672	90,937	211,431	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
		①雨水管整備費コスト(1m当り)		541.0	470.4	536.8	千円
		②					
	③						
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①雨水管整備延長	実績値	252.7	144.5	393.9	m
			目標値	190.0	145.0	402.0	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない			
		C					
		雨水管渠の整備については、半田東排水区内の浸水被害対策として新たな管渠を布設し、向山排水区では老朽管対策として管渠の布設替工事を実施した。 排水ポンプ場に関しては、北浜田・若宮排水ポンプ場の耐震化及びストックマネジメント計画に基づき、設備の改築・更新の実施設計を策定した。 課題としては、現在の耐震基準見直し以前に整備された既設管渠について、耐震診断等を実施する必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		雨水管渠の整備については、浸水被害の軽減を図るために継続して実施する。また、災害時においても重要な幹線等の排水能力を確保するため、ストックマネジメント及び耐震化対策を組合せた計画を策定して、管渠の改築・更新を実施していく。 排水ポンプ場については、老朽化が進んでいる北浜田・若宮排水ポンプ場の耐震化及びストックマネジメント計画による施設の改築・更新を実施し、排水能力を適正に確保していく。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
①北浜田排水ポンプ場 耐震化及び設備更新事業 進捗率(事業費ベース)				9.2	%		
②							
	③						